

国際学生BIM & VRコンペティション ワールドカップ受賞



Virtual Reality (通称VR) 仮想空間体験なるコンピュータグラフィックスの国際学生コンペティションが開催された。第3回となる2013年のテーマは、「グローバルな都市のサステイナブルな駅前空間」。東京の臨海地区を舞台に、まだ名前も決まっていない山手線の駅を交通結節点の中心とし、品川駅と田町駅の間にある車両基地を整理して山手線を東側の新幹線沿いに移設し、その西側に生まれる広大なエリアの再開発に伴って、新しい街の中心となる駅を地球環境時代の都市空間の提案を求めるもの。今回は世界3か国35チームよりエントリーがありました。予選考で7作品がノミネートされ、最優秀賞、優秀賞および審査員特別賞5点が選定されました。日本大学理工学部土木工学科構造・デザイン研究室は、3年生と4年生が混合した2チーム13名で応募し、その結果、最優秀賞であるワールドカップ及び審

査委員特別賞を受賞することができました。挑戦から3年目にして、ワールドカップまで到達しました。参加者は、中国、韓国、日本の建築、造園、情報など多岐に亘る分野からの応募で、土木からの受賞は快挙です。

○最優秀賞 Wrold Cup Award

HULAN 「Breathing Station」

- 4年 張 加順 4年 松浦亜結美
- 4年 遠藤 大輝 4年 富山 雄太
- 3年 豊田 由仁 3年ILDE「バト」1行「ツツク
- 3年 山崎 将寛

賞状、ワールドカップ、賞金20万円
○審査員特別賞 Urban Discovery Award

DOVIO 「Sibakaral」

- 4年 竹田 知樹 4年 門倉 亜貴
- 4年 林 佑弥 4年 前田 滝作
- 4年 山田 真弘 3年 尋木 亮磨

賞状、カップ、賞金5万円
2013年11月21日



研究会の夏合宿は、東名足柄橋を車中から眺めながら関先生の設計した富士宮市白糸の滝の滝見橋を見学した。滝見橋では、落雷というトラブルが発生し、五味(M2)はトラブル対応へ。その他のメンバーは、天神橋の富士宮焼きそばを食べ、山中湖の合宿所へ。
3年生は、構造、デザイン系の本の紹介を執筆要項にまとめ7分のプレゼンテーションし、4年生は、卒業研究の中間報告を7分のプレゼンテーションしました。
発表の終わった後は、もちろん大宴会で、構造コンペティションや造形コンペティションの表彰式が行われた。

HULAN 「Breathing Station」

Summer Lodging Camp 2013 at Yamanaka Lake

- [日程]
- 9/9(月) 御茶ノ水発→富士宮白糸の滝着
天神橋(富士宮焼きそば)
白糸の滝発→山中湖着
3年生発表会
懇親会
 - 9/10(火) 午前 4年生発表会
午後 山中湖調査
懇親会
 - 9/11(水) 山中湖→御殿場
午前 御殿場アウトレットモーター視察
午後 御殿場→御茶ノ水着
- 企画：松浦亜結美(B4), 山田真弘(B4)



連日の乗食に替え、焼きそばのいじ



研修発表会の様子



懇親会の様子



関研イケメンTWO TOP とジエンガ大会



関研スタイリストのカ (モデル：竹田知樹)

世界文化遺産に架かる滝見橋完成

関先生が設計、設計監理する静岡県富士宮市の白糸の滝に架かる滝見橋が完成し、2013年12月21日開通式を迎えました。その詳細は、12月に開催された土木学会景観・デザイン研究発表会で発表されています。

2011年12月から行われたこの事業は、世界文化遺産の構成資産内に架橋されることから、文化庁、環境庁、ICOMOSの関係するプロジェクトでした。如何にコンパクトで、耐久性が高く、維持管理コストが抑えられるかという構造テーマで、日本初の扁平バランスドアーチ構造という構造形式が生まれ、専門家の中で話題になっていました。研究室では、実橋を計測し研究しています。

事業者：富士宮市
設計監修：日本大学理工学部 教授 関文夫
構造設計：パシフィックコンサルタンツ伊東靖/石原大作
施工：ドービー建設工業
担当：五味傑(M2), 山田真弘(B4)



→2013年6月26日白糸の滝は、世界文化遺産のNo.24の構成資産として認められました。

←右から関文夫教授(土木工学科), 天野光一教授(まちづくり工学科), 須藤秀忠富士宮市長, 富士宮市の皆さん

